

神奈川大学三浦半島宮陵会だより 第25号

発行者: 神奈川大学三浦半島宮陵会 企画・広報委員会
事務局: 横須賀市浦賀丘2-8-19 Tel:046-843-0600

2018年3月11日発行

平成30年 賀詞交歓会開催

60人が参加し賀詞交歓会を開催

平成30年三浦半島宮陵会の賀詞交歓会が1月28日、京急横須賀中央駅前のセントラルホテルで開かれ、会員ら約60人が参加した。

第一部の記念講演は「2017年衆院選と今後の日本政治」と題し神奈川大学法学部・法学研究科の大川千寿（おおかわ・ちひろ）准教授にいただいた。

戦後の自民党の変遷過程や安倍内閣の位置づけ、選挙権が18歳以上に付与された現実を踏まえた高校生の政治意識調査結果では▽家族と政治の話をしたことのない人たちが半数以上もいる▽家族と一緒に投票所に足を運んだ高校生は40.2%に過ぎなかったなど、政治的関心の低さを指摘した。

また、60歳以上の層に比べ、高校生や20代の若者層には自民党支持層の多いことなどの特徴を指摘した。

記念講演会は今回も市民の皆さんに無料で聴講を呼び掛けたところ、三浦や横須賀市民の参加者があった。必ずしも多くはないが、大学の知見を地域社会に還元するという三浦半島宮陵会の活動目的の一つでもあるので今後も続けたい。

参加者全員で記念撮影を済ませた後、第二部の懇親会を開始。司会はおなじみの堀越昌樹さん（昭和62年法律卒）。いつもながらユーモアたっぷりの名司会ぶりもあり、懇親会は盛り上がりました。



2018年三浦半島宮陵会の賀詞交歓会 於セントラルホテル横須賀

鈴木和夫会長の挨拶



皆様、今年もよろしくお願ひ致します。

私は昨年10月、「みなとみらい」のKuポートスクエアの「人前で上がらない話し方」と言う講座を受けてきました。

場数を踏むことが一番である！

そして「笑顔」で、話す速度はNHKのアナウンサーが基本で、時々間を取り、メリハリをつけ、重要な所はゆっくりと話す。今日はこれでいきたいと思います。

まず箱根駅伝ですが、1月2日8時過ぎに、応援ポイントのJR保土ヶ谷駅に着くと、既にいつもより多くの幟が立っており、往路優勝を目標とする大学の意気込みを感じました。続々と観衆も増え、三浦半島の会員も10人強、保土ヶ谷・旭の会員と共に、ガイドを配布、幟を持ち、9時40分頃、鈴木健吾君の3位通過をケンゴ、ケンゴと応援しました。その後、湯本まで移動し応援しましたが、往路15位、復路9位、総合13位とシード権は獲得できず、残念な結果となりました。今春神大駅伝チームには、有望なメンバー10人が入部予定とのこと。沿道での応援は、現在どの辺を走っているか。今か今かと待つ期待感、目の前を選手が走り、「頑張れ頑張れ」と大きな声での応援。この感動が一番だと思いますので、次年度の活躍を祈念し、応援をしていきたいと思っています。

その他にも、ベ이스ターズへ入団した浜口投手は、10勝を上げ「特別新人賞」に輝きました。女子サッカー部は、全日本学生選手権で準優勝。男子バスケットボール部は、1部昇格し全日本学生選手権7位等、頑張っています。OBとして後輩の活躍を応援していきたいと思っています。（中略）

このあとの講演会では大川千寿准教授に、懇親会のアトラクションでは、お馴染みの大正琴「はなみずき」の皆様をお願いしています。お楽しみください。

また、母校および当三浦半島宮陵会に対しまして、今後ともご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。（1/28 セントラルホテル）

本年の賀詞交歓会には、副会長の内藤正久さん（昭和51年機械卒）が参加を促した結果、5人もの現役学生が参加してくれたこともあり、和やかな雰囲気となりました。

懇親会を盛り上げ参加者に楽しんでもらえるよう、今回で3回目となった「なはみずき」（大正琴アンサンブル）の女性4人メンバーによる演奏会も行いました。大学の校歌のほか、参加者メンバーに合わせ作っていただいた歌謡集（恋の町札幌、夢のカリフォルニア、北の旅人、襟裳岬）まで用意してもらいました。改めて感謝申し上げます。



大正琴アンサンブル「はなみずき」の皆さん

次回の、総会を兼ねた「三浦半島宮陵会の集い」は、6月24日（日）を予定しております。詳細については5月の連休明けには案内できるかと思えます。ご参加いただけますよう今からスケジュールの調整をお願いします。

（事務局長 原柳作）

記念講演会・懇親会の様子を写真で紹介します



↑ 受付風景（堀越さん・若林さん）ロビーにて



↑ 講演する大川千寿准教授



↑ 講演の司会をする大倉国光さん

講師略歴：1981（昭和56）年大阪生まれ。東京大学法学部卒。同大学院法学政治学研究科修士課程修了。2007年同助教、その後熊本大学政策創造研究教育センター特任准教授、神奈川大学法学部助教を経て2015年4月から現職。専攻は政治過程論・現代日本政治。



↑ 名司会の堀越昌樹さん



↑ 開会の挨拶をする鈴木稔さん

鈴木稔副会長の懇親会開会の挨拶

母校神奈川大学は、昭和3年に前身の横浜学院が設立されてから本年度で創立90周年を迎えます。この間、学園紛争など幾多の困難に直面しましたが、これを克服し現在では学生数18,000人を擁する総合大学に成長しました。

3年後には横浜市のみなとみらい地区に新キャンパスが完成し、国際系新学部が誕生するなど、既存の外国学部が経営学部に移転します。現在全国には750ほどの大学がありますが、少子化の影響から受験生が減少し、大学間競争が一段と激化していますが、神大の今年の受験者数は前期試験までですが、既に29,712人と前年比118%になっているとのこと、嬉しい限りです。……………(後略)



↑ 初めて参加された会員と学生たち



↑ 学生と談笑する会員



↑ 歓談される会員たち ↓



↑ 乾杯の挨拶をする石渡卓さん



↑ 中締の挨拶をする田中弘さん



三浦半島宮陵会同好会通信

世話人が紹介します

● ゴルフ会世話人: 中川六郎 (昭和44年経済卒)

メールアドレス: nakaroku@jcom.home.ne.jp

連絡先: 090-9003-2499



第34回三浦半島宮陵会オープンコンペは11月24日(金)、鹿野山ゴルフ倶楽部で4組16名が参加して行われました。

当日は、房総半島の紅葉が残る秋晴

れのなか、宮陵会会長杯争奪戦が繰り広げられ、約4年ぶりに参加した手塚さんがハンデを活かして、嬉しい初優勝を飾る結果となりました。

準優勝には3回連続で渡辺健さん。3位は山口さんが初めての入賞となり、ドラコン賞は渡辺健さんと塚田さん



↑ 「はなみずき」の皆さんとコラボする田原さんと奥野さん

ニアピン賞は阿部さんと齋藤勤さん、ベスグロ賞は塚田さんが獲得しました。また、当倶楽部から提供されたキャディーバッグは、全員の「あみだくじ」により鈴木和夫さんがゲットしました。

次回は2018年3月23日(金)、葉山国際カンツリークラブで開催を予定しています。(佐藤)



鹿野山ゴルフ倶楽部にて 2018.11.24

●テニス会世話人:小池邦夫(昭和38年機械卒)

メールアドレス: kichiemu@mbj.nifty.com



連絡先: 090-8811-5079

練習会場がなくなり、現在休止中です。6月になったら再開する予定です。会員の皆さん、自主トレーニングで備えてください。

●歩こう会世話人:若林秀明(昭和39年経済卒)

メールアドレス: w-hideaki@mvd.biglobe.ne.jp



連絡先: 090-3220-1479

休止中でしたが、12月23日(土・祝)の三浦半島宮陵会役員会の際に、城ヶ島周遊コースを散策しました。

当日は10時に京急三崎口駅に集合、城ヶ島まではホテルの送迎バスで移動。城ヶ島大橋の下で下車し、散策開始。

北原白秋の碑や記念館を見学。天気も良く、小高い丘の展望台からは、対岸の房総半島や相模湾越しには大山や丹沢山麓が見渡せ、青い海には白い帆を張った釣り船やヨットが行き来していました。

城ヶ島公園内の水仙ロードと呼ばれる歩道には、水仙が咲きほころび、とてもいい香りがしました。馬の背門や

波で浸食された岩場など、自然が織りなすすばらしさを堪能しました。(塩塚記)



城ヶ島の北原白秋の碑「雨あふるる城ヶ島の・・・」の前で

●つり会世話人:塩塚定雄(昭和48年貿易卒)

メールアドレス: s.shiozuka@aria.ocn.ne.jp

連絡先: 090-5581-1043

休止中でしたが、11月19日(日)に神大教職員釣り部(釣友会)の皆様とコラボで船釣りをしました。



7時に横浜・金沢漁港の忠彦丸に集合し、7時半に出船。釣り物はカワハギ。

風もなく穏やかな日となり、八景島を見ながら東京湾へと船は進み、猿島沖、第一海保沖、金谷沖等、釣

りをしながら移動。カワハギは餌取とも言われ、合わせに苦戦しましたが、形の良いカワハギを3匹ゲット。

当日は、先生方やお子さんを含め15人の参加者がありましたが、幸いに坊主はなく、帰りには大漁だった参加者から土産を頂き、楽しい一日を過ごしました。

今後もコラボで安く企画しますのでご参加ください。

《ニュース》

役員懇親会開催 in 城ヶ島京急ホテル

三浦半島宮陵会では「賀詞交歓会」や「集い(総会)」を成功させるために、年4・5回役員会を開催しています。

1月末の「賀詞交歓会」の打ち合わせを兼ね、併せて当会の忘年会も兼ねて、12月23日(土・祝)に城ヶ島京急ホテルにて役員会を開催しました。

当日は城ヶ島を散策し、ホテルの露天風呂に浸かるなど、楽しいひと時を過ごしました。



散策中に城ヶ島の『馬の背洞門』で記念撮影



笑いの絶えなかった忘年会『城ヶ島京急ホテル』で

会員の皆様から ～特集2～

半世紀を繋ぐ神奈川大学の思い出

長谷川 征勝 (昭和40年貿易卒)

今年の箱根駅伝は下馬評も良く、近年になく期待していた。昨年の全日本大学駅伝に優勝したからである。ところが残念ながら箱根の登りで順位を落とし、最後までシード権獲得には至らな



った。しかし、箱根を登った荻野選手を責めるつもりはない。彼だって全日本では3区を区間5位で走って優勝に貢献したからだ。来年を期待したい。

このように箱根駅伝は、良くも悪くも私たちOBを一喜一憂させ、その都度神奈川大学を思い出させてくれるありがたい存在である。

駅伝もさることながら、私には半世紀以上を繋ぐ大切な思い出がある。それは馬場ゼミと軟式テニス部の仲間たちである。

馬場ゼミの一期生と顔を合わせてから55年、軟式テニス部の仲間と同じ釜の飯を食い始めてから57年になる。

まず馬場ゼミである。卒業33年後の1998年、それまで一期生だけの僅かな交流が三期生までと広がり、先生がご逝去された2011年迄ほぼ毎年続いた。北海道や福井、沖縄などから集まるため、泊りがけが多かったのが特徴だった。馬場先生に時々までご案内戴いた、東大キャンパス見学や北海道旅行が特に印象に残っている。お膳立てしてくれた仲間感謝一杯である。

次は軟式テニス部である。私が現役の時、神大体育会系で強かったのは、ボクシング部、硬式野球部と軟式庭球部(2部の1位)だったことを覚えている。

“同じ釜の飯を食う”という苦楽を共にした同期の仲間との絆は強く今も続いている。卒業してから53年間ずっとである。最初は年1回だった集まりも、いつからか覚えていないが年4回になった。普通同期会は年あるいは2年に1回であるが、3カ月に1回はちょっと常軌をいっしているかもしれない。家内なんか“ハカミたい”と羨ましがっている。でも楽しいのである、飽きないのである。この楽しみは、死ぬまで続けたいと思っている。

最後に、神奈川大学の思い出を地域で縦に繋ぐのが三浦半島宮陵会である。知らない人も沢山いるが、校歌を歌えるのはこの会だけである。少しでも顔見知りを増やし、大切にしていきたいと思っている。(2018.2.2)

たかがカレーされどカレー横須賀繁盛記

青木 猛 (昭和48年経済卒)

カレーは、多くの人に愛される日本の2大国民食です。横須賀は「カレーの街づくり」で有名となり、ヒット食品「よこすか海軍カレー」も全国区になりうれしく思います。



以前、私は横須賀市観光課で、名物料理の創作に「よこすか海軍カレー」を魚籃亭のおかみさんと開発に奔走し、関係市にカレーの販売やPRに行きました。

そのため、テレビ東京の番組でいつしか「カレー課長」と呼ばれ、NHKの「おはよう日本」や「ひるどき日本列島」のテレビ取材でも言われました。

突然の「カレーの街よこすか」宣言は、何故かと聞かれます。これまで横須賀は、郷土自慢の名物料理がなく、聞かれると答えがありませんでした。

この解決は、旧軍港市の舞鶴と呉の東郷元帥考案の肉ジャガが発祥地論争がマスコミの話題となり、餃子の町・宇都宮の食の街づくりが登場したことにヒントを得ました。

平成10年頃、海自の横須賀地方総監から、旧海軍は手軽に料理ができ栄養価の高いカレーを、定期的曜日に軍隊食に取り入れ、脚気対策に食べていた「秘話ばなし」を紹介されました。今も伝統を受け継ぎ、全国の海上自衛隊員は「金曜日がカレーの日」として食べているそうです。

横須賀は旧海軍の軍港として発展した街なので、カレーで町興しをしたらと、横須賀地方総監の提案もありました。

家庭のカレーは、太平洋戦争も終り、横須賀から故郷に帰った兵隊さんが、旧海軍のカレーを思い出して作っても



横須賀みかさ公園にある「記念館三笠と東郷平八郎像」

らったことが、全国に広がったと言っても過言でもないと考えました。

よこすか海軍カレーは、ストーリー性の重視から、明治41年の舞鶴鎮守府「海軍割烹術参考書」の「カレーの仕方」を忠実に再現し、平成11年5月20日に全国に向け旗揚げしました。

また、カレー発祥の町の名乗りは、明治初期に東京の高級レストラン「風月堂」等、メニューに既にカレー料理があり、発祥ではなく「カレー発信の街」としました。

皆さん、カレーの街づくりを応援してください。
(2018.1.28)

寄稿 津久井の“留学生招待BQ大会”

津久井宮陵会事務局長 小野 潔 (昭和48年機械卒)

三浦半島宮陵会の皆様こんにちは。私は津久井宮陵会という神奈川のチベットといわれる津久井宮陵会の事務局を担当している小野と申します。先日貴会事務局の原さんと箱根保養所で一緒する機会がございまして、私共の目玉イベントである「留学生招待バーベキュー大会」について

何か寄稿してとのことで、拙文をお送りすることとなりました。話せば長いこととなりますので、出来るだけ短く書かせていただきます。

このイベントはまだ多少なりとも自然の残っている山紫水明の地・津久井の「道志川の河原」に本学の留学生を招待してくまず津久井の自然にひたってもらい、たくさん食べて飲んで、アー美味しかったと味覚を楽しんでもらい、留学生同士が顔見知りになり、仲良くなってもらい(親睦)、日本での楽しい思い出のひとつになれば)との単純な発想から、毎年留学生を本学国際センターとの連携プレーで招待しております。

平成23年の第1回から去年の第7回まで7年続けております。毎年定員オーバーを気にするほどの盛況でございます。今年は第8回となります。三浦半島の方々もお閑と興味がございましたら、ちょいとお顔を出してください。今年は5月13日(日)です。以下に昨年のBQ大会の報告文を載せます。ご笑覧の程。

「YOUは何しに日本へ？」留学生アンケート

昨年5月に行われた恒例の「留学生招待バーベキュー大会」のとき、会員山崎武さんの教え子の高校生・藤田君が特別参加して外国人学生に対して、ものおじせず、「YOUは何しに日本へ？」とアンケートを取りまとめてくれました。我々大人は忙しくてそれどころで無かったのですが、藤田君のおかげで「ふーん、なるほど」という外国人の気持ちに接することができました。



アンケート内容は、①あなたは何をしに(学びに)日本に来ましたか ②日本の良いところ(好きなところ)は何ですか ③日本に来て自分の国とは違うな~と思ったところは何ですか ④お名前と出身国を教えてください ⑤良ければ一言コメントを、というもの。

アンケート結果は、①はだいたいが文化交流、日本語の習得、旅行などで特に変わった答えは無いようです。②は

いろいろで「みんな優しい、食べ物おいしい、女の子が可愛い」（韓・男）。「交通が便利」（台・男女）。ま、横浜は辺鄙な津久井とは違いますけどね（ヒガミ）。「すし、ウナギ、カレーライスなどの日本の食べ物が気に入っている」（多数）。それと「コンビニが親切・大好き」（多数）と、とても気に入っているようです。

因みに言いますと、convenience store はまさに『便利なお店』で、彼らにとって、とても便利で留学生生活に役立つようです。③の言葉や食べ物は当たり前ですが、「電車が地上を走っている！」（ロシア）。そういえば、モスクワなどはみんな地下鉄ですね。「朝食を食べるところがない」（台湾・男女）。台湾や香港など東南アジアでは、朝食は屋台や食堂で食べますね。そして「夜も早く店を閉める」（台湾・女）。そう貴国では夜中遅くまで夜店で賑わっていますね。「日本人はマナーが良い、列を守る、約束を守る、優しい、街がきれい」（伊・他）など、我々日本人には面はゆいような感想も有ります。外国人の信頼を裏切らないよう「公德心、信義、優しさ」に気を付けましよう。④の出身国は、イタリア（男2女2）、ロシア（女2）、ドイツ（男1）、ベルギー（男1）、ブラジル（男1）、台湾（男1女2）、韓国（男2）、中国（女2）、マレーシア（女2）、タイ（女1）の10か国で19人、及びピーター4人で総数23人でした。⑤の感想では、「バーベキューがおいしかった。日本大好き。藤田くん可愛い」でした。（主催者としてはとても気持ちの良いコメントをいただきました）

だいたい以上ですが、もともと日本語を勉強して（会話は殆ど完璧です）、留学するくらいですから親日家なのでしょう。日本に対してとても良い印象を持っているようです。これからオリンピックに向けて外国人観光客が沢山来ます。「おもてなしの心」をもって外国人に接し、気持ちの良い、楽しい日本の観光と滞在をしてもらいましょう。

本会HP(ホームページ)の紹介



神奈川大学三浦半島宮陵会のHPでは、会のお知らせ(掲示板)、会員からのお便り、終了した会合の報告等が掲載されています。

パソコン、スマホ、タブレットだのと言っても、ちょっ

と引いてしまう方もいらっしゃるのではないのでしょうか。検索の仕方がわからない、アドレスを入れなければならないなど。心配はいりません。アドレスは「神奈川大学三浦半島宮陵会」でOKです。

本会の会報も見られます。同好会の写真もありますので、ここから自由にプリントしてください。お便りも下記へお寄せ下さい(s.shiozuka@aria.ocn.ne.jp)。

(広報担当：塩塚定雄)

～編集後記～

会報25号が出来上がりましたのでお届けします。賀詞交歓会には、たくさんの会員の皆様のご出席を頂きまして有難うございました。

本号では、賀詞交歓会の模様と合わせ、会員の皆様より原稿をお寄せいただきましたので、掲載させていただきました。今後も執筆の依頼をさせていただきますので、その節はよろしくお願い致します。

また、津久井宮陵会事務局の小野潔さんから、留学生との交流の模様を寄稿いただきました。興味を持たれた方は、今年の交流会に参加してみたらどうでしょうか。

我が三浦半島宮陵会は、鎌倉・逗子・横須賀・三浦・葉山の4市1町から構成されています。古都鎌倉はご存知だと思いますが、この三浦半島には、素晴らしい沢山の自然が残っています。

会員の方も、意外とご存じないのではないのでしょうか。今回末尾を利用してご紹介しました。地域外にお住いの方も、自然を満喫しに一度お越しください。

季節折々に咲く花も綺麗ですよ。田浦梅林の梅と水仙、三崎口の河津桜、衣笠公園の桜、塚山公園の桜とツツジ、久里浜花の国のポピー(春)と秋桜(秋)、菖蒲園の花菖蒲など。ご覧になりませんか。春3月季節も良くなります。お元気で過ごしてください。(塩塚)



城ヶ島から相模湾を眺める 2017.12.23